

同時発表：栗原市役所広報室

平成20年 6月24日

河川局河川環境課流水管理室

河川局砂防部砂防計画課

**宮城県 荒砥沢ダムへの異常流入を踏まえた現地調査結果について
(速報)**

平成20年6月24日午前0時10分に、荒砥沢ダムの流入量が急激に増加したとの宮城県からの報告を踏まえ、国土交通省の防災ヘリにて、国土総合政策技術研究所の砂防専門家がダム上流域における現地の状況を確認した結果（別添「調査概要」「コメント」）をお知らせします。調査結果については、調査した専門家が14時から宮城県栗原市役所において説明を行うとともに、ヘリの画像を基に国土交通省においても同時に説明を行う予定です。

なお、現在、荒砥沢ダムへの流入水量は安定しており、正午に異常流入前の水位まで低下しました。

問い合わせ先**【荒砥沢ダムについて】**

河川局河川環境課流水管理室 企画専門官 高村 裕平

TEL03 - 5253 - 8111(内線35 - 472)

TEL03 - 5253 - 8449(直通)

【現地調査について】

河川局砂防部砂防計画課 課長補佐 佐藤 保之

課長補佐 塩井 直彦

TEL03 - 5253 - 8111(内線36 - 142、36 - 152)

TEL03 - 5253 - 8467(直通)

調査概要

- 1 . 現地調査日時：平成 20 年 6 月 24 日 9:00 ~ 10:30
- 2 . 調査者：東北地方整備局、国土技術政策総合研究所
- 3 . 調査位置：宮城県栗原市荒砥沢ダム上流（二迫川）
- 4 . 記者会見日時：6 月 24 日 14 時 ~（予定）
- 5 . 説明者
 - （ 1 ）現地：国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター
砂防研究室長 小山内 信智
 - （ 2 ）国土交通省：（独）土木研究所 土砂管理研究グループ
主任研究員 内田 太郎
- 6 . 説明場所
 - （ 1 ）現地：栗原市役所 1 階ロビー災害対策本部記者会見場（予定）
 - （ 2 ）国土交通省：三号館 5 F 会見室（予定）

シツミクキ沢全景



シツミクキ沢の湛水池



平成 20 年 6 月 24 日未明、荒砥沢ダムへの異常流入について

国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター

砂防研究室長 小山内信智

- ・ 荒砥沢ダム上流の大規模地すべり地の上流右岸側（南側）の支川シツミクキ沢の上流約 1.5 km 程度の箇所には、崩壊による小規模な河道閉塞箇所がある。
- ・ 同箇所でも水が越流し、下流に流下した形跡がみられ、今回の異常流入の原因と考えられる。
- ・ ただし、下流側では、顕著に土砂が侵食された形跡はなく、主として水が流入したものと考えられる。
- ・ 今回の異常流入現象のあったシツミクキ沢は、大規模地すべりとは接しておらず、地すべり土塊の安定性への影響は無い。
- ・ なお、今回程度の現象の規模は、荒砥沢ダムの貯水池規模に対して問題となるものではなく、ダム本体への影響は少ないと考えられる。